

平成23年行政事業レビューシート

(文部科学省)

<b>事業名</b>	経済協力開発機構（OECD）協力		<b>担当部局庁</b>	科学技術・学術政策局		<b>作成責任者</b>	国際交流官 匂坂克久	
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	昭和39年度・平成22年度		<b>担当課室</b>	国際交流官付				
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>施策名</b>	VII-5. 科学技術の国際活動の戦略的推進				
<b>根拠法令 (具体的な条項も記載)</b>	-		<b>関係する計画、通知等</b>	第3期科学技術基本計画(平成18年3月閣議決定)				
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	OECDにおける科学技術関係活動に参加協力し、先進国をはじめとした関係各国と科学技術政策についての意見交換、情報分析、各種の議論等を行うことにより、我が国の科学技術政策の効果的運用を図ることを目的とする。							
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>	OECDが海外で主催する国際会議等について、効果を精査した上で、職員のパ遣に係る旅費を支給。							
<b>実施方法</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
<b>予算額・執行額 (単位:百万円)</b>	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算	6	5	5	—	—	
		繰越し等	0	0	0	—	—	
		計	0	0	0	—	—	
	執行額	6	5	5	—	—		
	執行率(%)	4	78.6%	6	126.1%	5	99.9%	
<b>成果目標及び成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	本事業は、OECDにおける科学技術関係活動に参加協力し、関係各国と科学技術政策についての意見交換、情報分析、各種の議論等を行うことにより、我が国の科学技術政策の効果的運用を図ることを目的としており、定量的な指標による評価になじまない。		成果実績	—	—	—	—	—
			達成度	%	—	—	—	
<b>活動指標及び活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	OECD各種会合等への職員派遣数 (我が国及び国際的な情勢を判断しながら、派遣の可否を検討するため、あらかじめ見込みを立てることは不可能である。)		活動実績 (当初見込み)	人	9	11	12	— (—)
	参加会合数 (我が国及び国際的な情勢を判断しながら、派遣の可否を検討するため、あらかじめ見込みを立てることは不可能である。)		活動実績 (当初見込み)	会合	6	7	8	— (—)
<b>単位当たりコスト</b>	0.42 0.63	(百万円/派遣者) (百万円/会合)	算出根拠	インプット(派遣旅費):5百万円 アウトプット(派遣者数):12人 アウトプット(参加会合数):8会合				
<b>平成23・24年度予算内訳</b>	<b>費目</b>	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
				平成22年度限りの経費				
	計							

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・用途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>平成21年度の行政事業レビューの指摘を踏まえ、本事業を平成22年度限りでいったん廃止した上で、平成23年度は外国関係旅費に係る積算を見直して予算を縮減しつつ、国際機関に対して拠出を行う他の事業とともに「科学技術国際活動の推進事務費」へ整理統合した。</p> <p>引き続き廉価な航空券購入の工夫等により効率化に努め、適切な旅費の執行を行うこととした。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
		<p>平成21年度レビューの指摘を踏まえ、平成22年度をもって廃止の上、他事業と整理統合している。</p>	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※平成22年度実績を記入

【A】

文部科学省  
(5百万円)

外国旅費

5 百万円

〔OECDが海外で主催する国際会議等について、効果を精査した上で、職員の派遣に係る旅費を支給。〕

資金の流れ  
(資金の受け  
取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位: 百万円)

A. 文部科学省			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
外国旅費	海外で開催されるOECDが主催する国際会議等出席旅費を支給	5			
計		5	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)